

2018年10月1日

報道関係各位

花王株式会社

**主演・監督・音楽に注目の20代女性が結集して
等身大の気持ちを描いたWEB動画**

**女優 清野菜名さん主演
ロリエ40周年スペシャルムービー
『ゆれ動いたって、いいんじゃない?』公開!**

2018年10月1日(月)公開

動画 URL: <http://youtube.com/watch?v=K3jDKfUi3-E>

花王株式会社は、発売40周年を迎える生理用品ブランド「ロリエ」のWEB動画として、女優の清野菜名さんが主演する『ゆれ動いたって、いいんじゃない?』(1分48秒)を、10月1日(月)から特設サイト(https://www.kao.co.jp/laurier/40th_cp/)で公開します。



ロリエ40周年 スペシャルムービー『ゆれ動いたって、いいんじゃない?』から

本動画では、「20代前半の女性のゆれ動くキモチ」をテーマに、清野菜名さん(23歳)が、注目の現役女子大生監督・松本花奈さん(20歳)とタッグを組んで、女性の大切な1週間に寄り添う「ロリエ」のメッセージを表現しました。ささいなことで落ち込んだり、イライラしたり、時には何もかも投げ出したくなったりと、どこか気分が落ち着かず、周囲にも素直になれない主人公の清野さん。そんな彼女が何気ない日常の中で、ゆれ動きながら、晴れやかな気持ちになっていく姿が、繊細かつ柔らかな世界観とともに描かれます。これまでの出演作で、自身と年齢や時代設定の異なる役を演じることが多かった清野さんですが、本動画では、貴重な等身大の清野さんの表情や仕草を楽しむことができます。

また、楽曲は、こちらも同年代のシンガーソングライターMiyuuさん(25歳)とコラボレーションし、本動画のために書き下ろした『on the wind』を使っています。ゆれ動く女性の日常を描いた歌詞と心地よいメロディーが、前向きに日々を歩む主人公の背中を押してくれる楽曲です。

■WEB ムービー『ゆれ動いたって、いいんじゃない?』ストーリー

部屋でゴロゴロしている清野さんが、ベッドと床の隙間から顔をのぞかせながら、「キレイな私がやってきた」とつぶやきます。

足の爪にマニキュアを塗っていた時、強い風の音にハッとして顔を上げる清野さん。すると、干していた洗濯物が風で飛ばされていて、慌てて立ち上がった拍子に、マニキュアの瓶が倒れてしまい、洗濯物を持って戻ってくると、マニキュアの液体がラグマットに流れ出しています。ため息をついて、ゴロンと仰向けになる清野さん。床に落ちていたバドミントンのシャトルを、壁に投げます。

駅のホームで、彼氏から半分に割ったたい焼きを渡され、「いらないよ」と不機嫌そうに断る清野さん。「何かあったでしょ」としつこく詮索してくる彼氏に、思わず「何もないってば」と大きな声を上げてしまい、二人の間に気まずい空気が流れます。

美容院にて。美容師さんに髪型を聞かれ、「いつも通りで」と答える清野さんですが、隣にいた女性が明るく染めた髪を見ながら、「自分じゃないみたい!」とテンションが上がっている様子を見て、やっぱり自分も髪型を変えた方がいいか悩んでいます。

カラオケにて。友人たちが楽しそうに盛り上がる中、清野さんが一人だけ膝を抱えて落ち込んでいて、「どうした?」と心配されます。

夕方のマジックアワーに、駆け足で階段を上る清野さん。街を一望できる高台から、思いっきり「わー!」と叫びます。

公園でジャングルジムの上から、シャボン玉を吹く清野さん。ふと空や周りを見ると、たくさんのシャボン玉が浮かんでいて、その中の一つがポンと割れた瞬間、清野さんの笑顔と、木々の間から光が差し込んでくる映像がインサートします。

朝、目覚まし時計が鳴る音で起きる清野さん。今までの浮かぬ表情はすっかり消え失せて、庭でバドミントンのシャトルリフティングをしながら、楽しそうに遊んでいます。

電車で対面の席に座っている彼氏と清野さん。清野さんが彼氏の肩にそっともたれかかります。

カラオケで友人たちとノリノリの曲で盛り上がった夜、部屋で映画のDVDを見ながら笑ったりと、いつもの素直な自分を取り戻した清野さん。

最後は外に出かけて、歩いている途中、ふと立ち止まった清野さんが、「さらっと笑おう。さらっと進もう」というナレーションをバックに、爽やかな笑顔を見せるカットで締めくくります。

■WEB ムービー 概要

タイトル : ロリエ 40 周年 WEB ムービー『ゆれ動いたって、いいんじゃない?』(1 分 48 秒)

出演 : 清野菜名

楽曲 : 『on the wind』 唄/Miyuu

公開開始日 : 2018 年 10 月 1 日(月)

公開先 : 花王「ロリエ」特設サイト(https://www.kao.co.jp/laurier/40th_cp/)

動画 URL : <http://youtube.com/watch?v=K3jDKfUi3-E>

メイキング : <http://youtube.com/watch?v=XWFpZysA2yA>

※主演・監督・音楽のインタビューを盛り込んだメイキングムービーも公開します。

■撮影エピソード

◇けだるそうな仕草にも垣間見える凜とした美しさ

清野さんの撮影は7月下旬、ロケを中心に2日間の日程で行われ、初日は都内の閑静な住宅街にある一軒家で、早朝からスタートしました。横向きに寝転がって、ベッドと床の隙間から顔をのぞかせる場面では、少しけだるそうな表情をするシーンにも関わらず、モニターに映し出される清野さんの自然な美しさに、思わずうっとりしていたスタッフ一同。どこからともなく「かわいい…」という声が漏れ聞こえてくるなど、現場はすっかり和やかなムードに包まれました。

◇微妙な表情の違いを演じ分ける豊かな表現力

風で飛ばされたベランダの洗濯物を拾うシーンでは、何とも切ない表情が印象的だった清野さん。部屋に戻ると、足元のマニキュアが倒れているのに気付く、ベランダにいた時とは異なる残念そうな表情を浮かべました。その微妙な表情の違いを演じ分けると、松本監督の口から、力のこもった「OK！」が。同世代の監督だからこそ引き出した、自然体の清野さんの繊細な感情表現がとても印象的でした。

◇シャトルリフティングで披露した抜群の運動神経

数々の映画やドラマでダイナミックなアクションシーンに臨み、バク転が特技という清野さんは、芸能界でも屈指の身体能力の持ち主。バドミントンのラケットで羽をポンポンと打ち上げるシーンでは、最初からミスなく5回続けて、次には9回と、持ち前の運動神経とセンスを存分に発揮し、テイクを重ねるごとに回数を増やしていました。撮影を終えた後、「結構うまくできたー！」とうれしそうな声を上げ、小さくガッツポーズを見せた清野さん。体を動かすアクティブなシーンを、心底楽しんでいる様子がうかがえました。

◇スタッフの頑張りに応じて OK テイクを連発！

2日目は川沿いの遊歩道で、物語終盤の雨上がりのシーンを撮影しました。まだ7時前の早朝にもかかわらず、気温は早くも30度を超えていて、本番が始まる頃には制作チーム全員、すっかり汗だくといった状態。そんなハードな状況で行われた撮影でしたが、集中力を研ぎ澄ました清野さんは短時間でOKテイクを連発。暑さにめげず頑張ったスタッフの皆さんに、最高の形で応えると、ラストカット同様、晴れやかな笑顔で現場を後にしました。

◇演者・監督・歌い手の20代女性トリオが奏でる絶妙のハーモニー

ゆれ動く女性の繊細かつ複雑な感情の機微を、等身大で表現した清野さん。20歳の松本監督とは同年代ということで、主人公のセリフや表情、仕草などのディレクションも、感覚的に共感し、理解し合えるところが多く、シーンにふさわしいお芝居を、自然体で演じていました。

また、本動画の楽曲を手がけたMiyuuさんも、清野さん、松本監督と同世代だけに、3人の調和したハーモニーが、20代女性のキモチに寄り添う作品として、絶妙なリアリティーを演出していました。

■清野菜名さん インタビュー

——ご自身と同じ「現代の20代前半女性」を演じて、どんな印象を持たれましたか？

今回は等身大の役ということで、あまり演じるということは意識せず、この作品の中に、私自身として登場しようという気持ちで臨みました。特に、最初の「嫌いな私がやって来た」というセリフは、ふに落ちるといふか、とても共感できる言葉だなと思いました。うまく行き続けるということはなかなかなくて、どうしても負の連鎖みたいなことが起こってしまう時があって、自分としては少しでも良い方に進みたいんだけど、まったく反対のことをやってしまって、もっと状況が悪くなってしまふ。そんな状況が続いてしまう時は、本当に「ああ、嫌な時間がやって来たな」と思います。

——監督は20歳で、清野さんと同世代の女性でしたが、撮影中の印象はいかがでしたか？

自分よりも監督の年齢が若いというのは初体験でしたが、あまりの落ち着きぶりに驚きました。私が20歳のころは、いろいろなことがうまく進められなくて、どうしたらいいのかも分からなかった。でも、撮影中の監督には迷いがなくて、やりたいことが頭の中に映し出されているんだろうなと感じました。なぜそういう演技になるのか、ひとつひとつ的確に分かりやすく伝えてくれましたし、実際に監督自身がやってみせてくれたので、とてもスムーズにコミュニケーションが取れたと思います。

——清野さんの気持ちが「ゆれ動く」のは、どんな時でしょうか？

マイナスの方じゃなく、割とプラスの方の気持ちでゆれ動くことが多いかもしれません。たとえば、すごく天気が良くて風が気持ちいい日、坂を上がっていたら、小学校とか中学校の頃を思い出して、スキップしたり、小走りしたくなったりとか(笑)。その場の空気が、過去の自分が吸っていた空気と似ていると、昔の記憶と今がリンクして、ゆれ動く瞬間が結構あります。あとは、みんなで楽しくワイワイしている中で、急に寂しくなってしまうというか、ぽっかり心に穴が空いてしまったような感覚に陥ることは、過去も今も経験がありますね。

——ゆれ動いた気持ちに対して、何かしら対処することはありますか？

私の場合は、そうなってしまったら、落ちるところまで落ちようと思います。そうした方が戻ってくるのも早いというか。ゆれ動いた気持ちに対抗してしまうと、その分、長続きしてしまうんですよ。だから、自分はそういう気持ちになってしまったら、その時の自分を受け入れて、自然と気持ちが晴れてくるまで、流れに身を任せるようにしています。

——清野さんと同世代の「ゆれ動く」女性の皆さんにメッセージをお願いします。

思ったことを素直に伝えられないこともありますが、私はそれでいいと思っています。うまく行かないことがあると、どうしても良くしようとカバーしてしまいますが、流れに任せた方が、時にはうまく事が運ぶこともあるような気がします。ぜひ皆さんも参考にさせていただきつつ、この動画を見て、「ゆれ動く気持ち、あるよね」と共感してもらえたらとてもうれしいです。

■松本花奈監督 インタビュー

——本作品の企画を聞いた時、どのように感じましたか？

最近、女の子を撮るのがすごく楽しくて、元気な時と素の表情のギャップが、男性よりも大きいので、そこがすごく面白いなと思っているんですが。だから、今回の作品は、女性にしか分からない生理のときの気持ちを描くので、ワクワクしながら撮影に臨めました。

——動画制作に当たって、心がけたことをお聞かせください。

見た方に共感していただくということが一番にあって、そのために、日常の積み重ねのようなシーンが続いているのですが、でも、それならドキュメンタリーでいいじゃん、となるので、「ゆれ動く」をシャボン玉で比喻して表現しました。そういうファンタジ的な要素を、リアルな現実の映像とバランスを取りながら、どう見せていくかということにこだわりました。

——初めてのCM撮影でどんなことを意識しましたか？

私自身、映像は移動する時や待っている時とか、何かをしながら見ていることが多いので、最後まで見ていただくのってすごく難しいと思って、見る側の気持ちになることが大事だなと思いました。そこで、何を見た時にハッと食いつくのか考えて、キレイな色はひとつ、大きなきっかけになるのかなと思って、映像に色を使うようにしました。マニキュアの瓶を倒すシーンも、普通なら「わー、もう最悪」という感じですが、床に飛び散った色がカラフルでキレイだなあと思うこともあるんじゃないかなと。ちょっと見方を変えると、日常も良くなるということを、象徴的に表現しました。

あと、普段の作品作りだと独りよがりになっちゃうこともあるんですけど、みんなでどうやったら見てもらえるかを考えながら作っていったのは楽しかったです。

——清野菜名さんの印象について。

清野さんには、短い尺の中で、衣装をたくさん着替えていただくことで、日常を生きていることを表現していただきましたが、髪型とか衣装、あとはいる場所やそこにあるものによって、雰囲気がすごく変わる女性というか。すごく自然体で、その時その時をきちんと生きているという雰囲気が出ていて、とても素敵な女性でした。

——松本監督自身、気持ちが「ゆれ動く」のはどんな時ですか？

また、ゆれ動いた気持ちに対して、何かしら対処することはありますか？

私はけっこう、天気によって左右されるところがあって、晴れていたら、「あ、めっちゃ楽しい」となりますし、雨だったら、「あー、やだなー」となります。対処法は早起きで、たとえば、何時に寝ても6時半に起きると決めて、それができた自分を褒める。あとは、その日にやったことを全部書き出して、今日はこれだけやったから、「まーいっか」と自分で自分を認めるというようなことは、たまにやりますね。何だか超ストイックな人みたいですけど(笑)。

——視聴者の皆さんにメッセージをお願いします。

清野さんの透明感と、Miyuuさんの透明感のある声、歌詞がリンクしているところが見どころかなと思います。見ている、明るく前向きになれる作品に仕上がっていると思いますので、ぜひ繰り返しご覧になっていただけたらうれしいです。

■Miyuuさん インタビュー

——楽曲制作に当たって、心がけたことをお聞かせください。

日常で急に寂しくなったり、誰かに頼りなくなったり、多くの女性が感じる気持ちを歌にすることって、最初は難しいのかなと思いました。それでも、絵コンテや資料を拝見していく中で、商品に対する思いや熱い気持ちが伝わってきたので、女性のゆれ動く気持ちとか、大事にしている言葉を歌詞に盛り込みつつ、聞いた人が「こんな気持ちの時あるなあ」と共感できるような楽曲にしたいということを心がけました。

——20代女性の等身大を描いた歌詞について、ご自身の体験を基に制作されたのでしょうか？

私自身も同世代の女性なので、きっとみんなこういう時、こういう感情になったり、こういう行動を取ったりするのかなと、想像と実体験を織り交ぜて書きました。

曲作りについては、ギターでコードを弾きながら鼻歌を歌い、そこに書き出したワードを散りばめて形にしていく中で、ストーリー展開に合わせて、このシーンでこの歌詞が出てくるといいな、ということイメージしながら作った感じです。

——実際の映像をご覧になってみて、いかがでしたか？

本当に素敵な映像になっていて、私がここでこの歌詞が出てきてほしいと思っていたタイミングで、清野菜名さんが素敵な演技をされていたのが、とても印象に残っています。私自身も、分かる分かれる共感できるような場面がたくさんありましたし、日常の中に少しずつ希望の光が見えるような映像になっていたのも、元気をもらえるなと思いながら、拝見させていただきました。

——Miyuuさん自身、気持ちが「ゆれ動く」のはどんな時ですか？

また、ゆれ動いた気持ちに対して、何かしら対処することはありますか？

私の場合は曲作りの時にゆれ動くことがあって、思い通りに進まなくてイライラしたり、なんでうまくできないんだろうって落ち込んだり。そういう時、朝起きてちょっとだけ走ってから取り掛かるようにすると、けっこう穏やかな気持ちで作れることがありますね。それでもうまく行かない時は、寂しさや不安を全部受け入れて、いったん放って置くというか。それから一人で散歩に出かけたり、ギターを持って近所の公園で歌ったりします。

——視聴者の皆さんにメッセージをお願いします。

仕事でも学校でも、不安になったり、悩んだり、それによって気持ちがゆれ動いたりすることは絶対あると思いますが、いったんそれを受け入れて、全部ポーンと流しちゃってもいいんじゃないかなと。そういう自分の気持ちを大事にしながら、ちょっとずつでも前に進んでいけたらと思います。映像を見て、曲を聴きながら、そんな気持ちもあるよね、でも大丈夫、明日になれば忘れていだろうとか、そうやって前向きに捉えていただけたらうれしいですね。

■WEB ムービー『ゆれ動いたって、いいんじゃない?』 ストーリーボード①



T)presented by Laurier



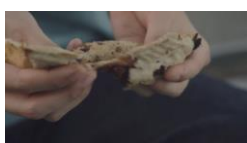
清野さん on:
キレイなわたしが
やってきた



T)キレイなわたしが
やってきた



T)がんばりたいのに
空回り



彼氏:
「おまたせ!
今日は特別に
頭のほうあげる」

清野さん:
「いらないよ」

彼氏:
「えっなんで?
何かあったでしょ?
ねえってば」

清野さん:
「ほんとに何も
ないってば!」

T)ほんとうは
甘えたいのに
つい強がる



美容師:
「今日どうされます?」



清野さん:
「いつも通りで
お願いします」

美容師:
「はい」



隣の女の子:
「自分じゃないみたい。
ありがとうございます!」



T)私らしくいたいけど
あの子も気になる



T)みんなといるのに
うまく笑えない



友人:
「どうした菜名〜」



清野さん:
「わー!」



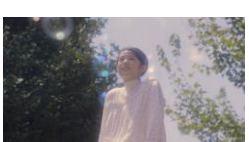
■WEB ムービー『ゆれ動いたって、いいんじゃない?』ストーリーボード②



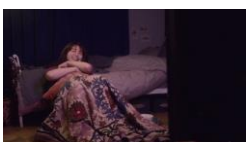
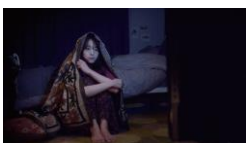
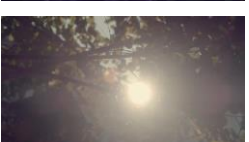
T) そんな私にあきらめることもあきらめなければ



T) ゆれ動いたっていいんじゃない?



T) 生理の日は、とくにね。

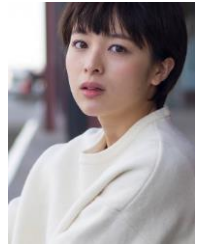


T) さらっと笑おう。さらっと進もう。

■プロフィール

<清野 菜名(せいの なな)>

1994年10月14日、愛知県出身。2007年にティーン誌のモデルとして活動を始める。その後、女優として活動。14年に映画『TOKYO TRIBE』(園子温監督)でヒロインに抜擢。ヨコハマ映画祭2015最優秀新人賞受賞。押井守監督作『東京無国籍少女』で映画初主演、ジャパンアクションワード2016最優秀女優賞を受賞。2017年テレビ朝日、「トットちゃん!」では主演の黒柳徹子役。2018年NHK連続テレビ小説「半分、青い。」に出演、10月からは日テレ「今日から俺は!!」にヒロインとして出演。



<松本 花奈(まつもと はな)>

1998年生まれ。慶應義塾大学在学中。初長編監督作品 映画「真夏の夢」が史上最年少の16歳でゆうばり国際ファンタスティック映画祭に正式出品。翌年、映画「脱脱脱脱 17」が同映画祭にて審査員特別賞&観客賞を受賞。その後、渋谷・ユーススペースにて単独公開される。その他の主な監督作に、ドラマ「平成物語」(フジテレビ)・ドラマ「恋のツキ(4.9話担当)」・映画「過ぎて行け、延滞10代」・映画「スクールアウトサイダー」・HKT48 MV「キスは待つしかないのでしょうか?」・「Just a moment」・おとぎ話「ONLY LOVERS」など。第29回東京国際映画祭フェスティバルナビゲーター就任。2018年4月、TBS「情熱大陸」に密着される。



<Miyuu プロフィール>

1993年生まれ、大阪府出身の自然と旅を愛するシンガーソングライター。京都のお寺や神社で、Maroon 5「Maps」、Bruno Mars「Just the Way You Are」などをギターで弾き語りしている動画をYouTubeで配信。そのスモーキーかつ優しい歌声と、京都×洋楽という異色の組み合わせが注目を集め、日本のみならず海外でも再生されるようになった。現在はYouTubeでの動画公開と大阪・東京でのライブを中心に活動中。2016年9月7日に1st digital single「Southern Waves」をリリース。2016年12月21日にインディーズ盤 EP「Where we'll be」をリリース。2018年3月、自然豊かな尾瀬の魅力について音楽を通して伝える「オゼ・ミュージック・アンバサダー」に就任



■楽曲『on the wind』歌詞

歌・作詞・作曲: Miyuu

窓の外 眺めていた いつもと同じeveryday
ちょっと嫌になった 明るくもなれない

あなたの優しさも 強がって振り切ったyesterday
本当は素直になりたいなんて 呆れちゃうよね

手を伸ばした先にこぼれ落ちる my feeling

きつといつか笑い飛ばせるって そう信じてるから
こうやって 揺れ動いたっていいんだ Ah
何度だって 立ち止まって全部 受け止めていけるはず
今は 風を感じて

落ち込んで 臆病になって 誰かのせいにしたり
生きていればそんなこともあるよね

うまく伝えたいけど 空回りしてばかり
いつかあの人にもきつと 届くといいな

風に乗せて飛ばすよ will you take my love?

きつといつか笑い飛ばせれば見えない未来も
こうやって怖がらないで進める気がしてる
何度だって うまく行かないこと たくさんあったはずよ
ねえまだ 夢の途中

人と比べてまた失望して
誰かの噂に苦しくなる
だけど ねえ みんな同じよ

だからいつか笑い飛ばせるって そんな気がするから

大丈夫 ゆっくり歩いてゆこう
きつとそんな毎日が 懐かしく思える
good bye その日まで
こうやって 風を感じて

■ロリエ 40周年限定商品の販売およびキャンペーンについて

ロリエ発売 40周年を記念して、限定デザイン商品の販売や Twitter キャンペーンなどを実施します。

10月1日(月)から、Instagram で人気のイラストレーター itabamoe さんがデザインした「ロリエ 40周年限定商品」を販売します。さらに、itabamoe さんデザインの「ロリエ 40周年限定商品サンプル」を1万人にプレゼントします。

11月1日(木)からは、Twitter のチャット bot 機能を使ったコンテンツ「豹変!?女子診断」がスタート。いくつかの質問に答えると、隠れた一面が分かる診断コンテンツです。さらに、診断結果をツイートして、ロリエアカウントをフォローすると、抽選で100名様に、「ロリエ 40周年限定商品サンプルのアソートボックス」と、「診断結果に応じたロリエ商品」をプレゼントする Twitter キャンペーンを実施します。

花王 ロリエ公式ツイッター (@laurier_jp) URL : https://twitter.com/laurier_jp



ロリエ 40周年限定商品



ロリエ 40周年限定商品サンプル
デザイン例

ロリエ 40周年限定商品サンプル
アソートボックス

■素材について ※下記よりダウンロードお願いいたします。

※パスワードはすべて「1001」でございます。

●動画「ゆれ動いたって、いいんじゃない？」本編・メイキング

<http://firestorage.jp/download/faa338e682ffea966e338473ab606f17be287172vhlm2wi5ja>

●カットデータ

<http://firestorage.jp/download/51815c65d6fbf3f9110979de0e4182a4e8244ea1v4s45pj6gs>

●商品カットデータ

<http://firestorage.jp/download/492974bd2a42e0b6cb2b573f61e48a0a6560444e1rhwygyj49>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社 電通パブリックリレーションズ 担当:古池

TEL:03-6263-9281 Email:toru.koike@dentsu-pr.co.jp